

近代中国研究参考図書室について

市古宙三

東洋文庫の近代中国研究室では、その創設された1954年以来、ロックフェラー・フォード・アジア・三菱の諸財団や文部省から資金の援助を得て、近代中国に関する内外の資料や研究書を集め、現在ではその蔵書は約3万部に達している。

はじめはこれらの図書は研究室に置き、誰でもが自由に見ることのできるようにしていたが、蔵書の数が増すにしたがって、それは不可能になり、若干の辞典・目録・年鑑・地図・年表や資料集を残して、他はすべて書庫におさめた。研究室に残された図書は、もともと私たち研究室で働くものが仕事に使うためのものであったが、一般研究者のこれらを利用するものも多い。そこで別に一室を設け、そこにこれらの図書を移して研究者の便に供することにした。これが参考図書室である。

参考図書室を開くにあたり、私たちはあらためて書庫の中から研究者の参考になりそうな図書を選び出して加えた。同時に、カード目録をさらに1セット作って、参考図書室に置くことにした。かくて現在、参考図書室には次のようなカード目録と参考図書とが置かれている。

カード目録

日本文図書目録（書名・著者・分類）

中国文図書目録（書名・著者・分類）

書名・著者目録には、日本式漢音で五十音順にならべたもののほか、拼音によるアルファベット順のものがある。

欧文図書目録（書名・著者）

逐次刊行物目録（日本文・中国文・欧文）

著者別研究文献目録（日本文）

参考図書

D 辞典類 各種の辞典・事典のほか、『商人宝鑑』『紡織手冊』『漢訳外国人名地名表』『簡化字総表』のようなものも含む。但し、

人名辞典・地名辞典は除かれている。

- J 人名録類（付，団体） 人物・団体を調べるのに役立つもの。列伝・人名辞典・商工名鑑の類のほか、『清代碑伝文通検』『室名別号索引』『清季職官表』『東洋学著作目録類総覧』『人民公社総覧』『Doctoral Dissertations on China』『International Directory of Centers for Asian Studies』のようなものも含む。
- Y 年鑑類 『中国要覧』『経済年報』『農商統計表』『満州国現勢』のようなものも含む。
- B 目録類 各種の文献目録のほか、『中国現代出版史料』『五四時期期刊紹介』『人民日報索引』『Contemporary China; A Research Guide』のようなものも含む。
- C 年表類 いわゆる年表・大事記・史事日誌の類のほか、『近世中西史日対照表』のようなものも含む。
- M 地図類 地図のほか，地名辞典・地図目録など，地名を調べるのに参考になるものを含む。
- A 資料集 外交文書集・法令集，その他の資料集類であるが，参考図書室に出ているのは，近代中国研究室別置図書中のほんの一部にすぎない。

この参考図書室は誰でも利用できるが，利用するにあたっては，次の点に注意してほしい。

- 1) 開室されているのは，月・火・水・金・土曜日の 9:15~12:00, 13:00~16:30です。木曜日は利用できません。東洋文庫の閉館日は勿論駄目です。
- 2) 入室の際には，入口に備えつけてある帳面に署名して下さい。
- 3) 荷物は持ちこまないで下さい。
- 4) 見終った図書は，自分で書架に返さず，机上に置いておいて下さい。
- 5) 参考図書室の図書は外部に貸し出しません。
- 6) 参考図書室のカード目録は，近代中国研究室別置図書だけの目録です。別置図書のほかにも東洋文庫には近代中国関係の図書がたくさんあります。それらは閲覧室にあるカード目録を見て下さい。
- 7) 参考図書の選択も排架も，もともと私たち研究室に働くものの便

宜のためになされたものです。その後，一般研究者を対象とした参考図書室にふさわしいものにするため，便宜主義的な点の是正につとめてきましたが，一度排架したものを改めるには大変な手間がかかりますし，スペースにも限りがありますので，なかなか思うようにいきません。したがって選択・排架に不都合・不可解な点多多あろうかと思えます。たとえば人名録類の中に『清季職官表』が入っているとか，『清史列伝』はあるのに『革命人物志』がないとかいう類です。勿論『革命人物志』を持っていないわけではありませんが，この種の，書庫にありながらスペースの関係で参考図書室に出せないものは，このほかにもたくさんあります。したがって参考図書類で図書室に見えないものは，まず図書室のカード目録を，さらに閲覧室のカード目録を見て下さい。

なお，次に掲げる「近代中国研究参考図書室排架目録」は，この参考図書室の図書を，排架順にならべたものである。